

## ~日本書字文化協会機関紙 No 7 2 ~

令和元年 (2019年)



編集長 渡邉 啓子 一般社団法人日本書字文化協会 代表理事・会長 大平恵理

〒164-0001 中野区中野 2-11-6 丸由ビル 3 階

電話 0 3 - 6 3 0 4 - 8 2 1 2 FAX 0 3 - 6 3 0 4 - 8 2 1 3

E メール info@syobunkyo.org

◇第8回全国書写書道総会十会由中案本会問く・・・・・

| ○  | _ |
|--|---|
| ◇コラム「こころ」(大平 恵理)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・       | 4 |
| ◇第1回中日青少年書画友好交流コンクール開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 5 |
| ◇全書研東京大会開く・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・             | 7 |
| ◇ライセンス試験を 11 月に実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・      | 9 |



### 第8回全国書写書道総合大会

# 中央審査会開く 9/23 中野

### 受賞者 団体・個人に 10 月初旬連絡

第8回総合大会は、「ひらがな・かきかたコンクール」に続き「全国学生展」(毛筆) と「全国硬筆コンクール」も9月16日締め切られました。応募総数は13,261点(第 7回12,875点)と微増でした。特別賞を決める中央審査会は東京・中野ゼロホール(区 立もみじ山文化センター)で開催され、文部科学大臣賞などを決定しました。

特別賞は応募者の約 1.5 パーセントの人に授与されます。特選の中から優秀特選 (準特別賞)を選び、中央審査会での特別賞審査の対象とします。特別賞を授与され た場合、申し込まれた記念アルバムの文言は特別賞対応になりますので心配はありま せん。本賞(特選、金・銀・銅賞)を含め発表は10月初旬の予定です。





|      | <u> </u>                 |  |
|------|--------------------------|--|
| I \  |                          |  |
| lit. | \ <del>'Z \</del> 'J \ V |  |
|      |                          |  |

#### 第8回総合大会

第7回総合大会

全体

13,261点 6,305点

12,875点

ひら・かきコン

7,018点

学生展席書

1,134点 1,188点

同 公募

580点

全国硬筆コン

5,298点

524点

4,089点

#### 出席審査員

加藤祐司(中央審査委員会委員長)辻 真智子(同副委員長)、長野秀章、西村佐二、 宮澤正明(以上中央審査委員)、大平恵理、渡邉啓子、池田圭子(以上書文協本部) 桑島智子(書文協委嘱専門委員)

## 書文協ホームページに 10月 22 日ごろ掲載

特別賞から優秀特選ベスト 10 まで全員の名前は、10 月 22 日ごろ、書文協ホームページ結果発表コーナーに掲載される予定です。この内、同コーナーでは上位入賞の作品(総合の部大賞まで、個別コンクールの文部科学大臣賞、名誉大賞、大賞、中央審査委員会賞、主催者代表賞、後援団体代表賞)については、作品の写真も掲載されます。この写真入りページは大会名、賞名などが記載された A4 サイズの記念版として印刷できます。

結果発表コーナーは、書文協ホームページのフロント写真の下にある横メニューバーの右から2番目「大会」にカーソルを当てると項目がプルダウン表示されますので、その中の「結果発表」をクリックしてください。

この結果コーナーは、スマホでも見られるように作製されていますので、お友達と一緒にご覧ください。11 月下旬、書文協ホームページに掲載予定の月刊書字文化 11 月号にも掲載されます。

### 優秀作品展示・交流会は 11/3 中野ゼロホール

11月3日(日、文化の日)に、東京・中野のゼロホールで優秀作品展示交流会を開催予定です。これまで浅草公会堂での展示交流会等では「書写書道と学業の両立」をテーマに生徒の意見発表会を行いましたが、今年も計画しています。大会応募者は誰でも参加できます。翌4日(月)は振替休日です。皆さん、ぜひご参加ください。

## 仮名書き作品の増加を!・・・書文協

中央審査会終了後の懇談会等では、各審査委員から有益なお話が次々と披露されました。文字文化と言う言葉が新しい指導要領に初めて登場したことから、書写書道の文化論も語られました。この中で大平恵理書文協会長は「毛筆作品で仮名交じり文の作品が増えるように日頃の指導を強化していきたい」と述べました。

中国伝来の漢字を字源に、ひら仮名が完成したのは9世紀初めのころと言われます。 和漢混交の書き文字は、日本人が生み出した独自の文化で、日本語書き文字の約6割 は仮名が占めています。勅撰和歌集の[古今和歌集] (905年) の仮名序はあまりにも 有名ですが、1000余年を経て、仮名は日本人のアイデンティティの根幹にあるのでは ないでしょうか。

中国との書法・書道交流を強めている書文協は**(関連記事5ページ)**、日本の多くの子供たちに仮名文字が含まれた作品をどんどん書いて欲しいと思っています。外国の人たちには、仮名文字もハングル文字同様に漢字とはまるで違った記号に映るのでしょうか。書文協は文字の体様を越えて、文字を書く文化を日中韓の東アジアブロックで広げて行きたいと思っています。

加藤東陽委員長は、あいさつで「書文協の方向に沿うように審査会を進めて行きたい」と語りました。

大平 恵理(書文協会長)

#### 書写書道をきっかけに世界を知ろう



「世界のことで何か知ってる?」と、授業の時などに生徒たちに聞いてみることがあります。「トランプ!」などと言うのは良い方で、子供たちは世界の動きをあまり知りません。これからの国際化時代を生きる日本人として、もっと世界に目を広げてもらおう、そのために書写書道でやれることはないか、と考えていました。そこへ日中の子供たちによる書と画のコンクールを手伝って欲しい、という依頼が来て、今その事務局をサポートしています。(関連記事 4ページ)

第1回中日青少年書画友好交流コンクールがそれです。主催は中華人民共和国政府ですが、日本側事務局を代表する劉洪友(リウ・ホンヨウ)さんという書家から頼まれました。劉さんは在日31年目の中国人。中国書法学院という教室を開いて、日本人に書法(日本の書道)を教えてきました。私が青梅で活動していた時代から交流がありました。

地道な書家活動が評価され、第9代の全日本華僑華人連合会会長に就任しました。 在日中国人を代表するポストですが、文化部門からの選出は異例と言われます。劉さんは文化交流こそ日中交流の基本であり、特にその中心は書道・書法交流だとして書法芸術展を何度も開いてきました。日本人、特に児童生徒の書写書道作品もクローズアップしたい、と青少年指導を高く評価している書文協に協力を依頼してきたのでした。

漢字は、文字を持たなかった日本語を大きくを発展させました。日本人は漢字から「ひらがな」を生み出す、という大改良の能力も発揮しましたが、長い歴史を通じて中国と日本は同じ漢字文化圏に属してきました。しかし、国情はそれぞれに違い、真に平和な友好関係を保つには、それぞれの文化を相互理解することがとても大事です。今回のコンクールは、その一助になるでしょう。

作品の優秀者は今年末、中国広州市に招かれます。来年初めには中国からも多くの子供たちが来日し、横浜で交流展示会が開かれます。書文協に関係する子どもたちが、その動きの中心となり、中国を通じて世界に目を広げていくきっかけになることを願っています。

## 中日青少年書画友好交流コンクール 日本側ホームページ開設

URL http://yuukou.org

携帯の画面でもすっきりと読める方式で作られています。お手元の携帯でゆっくりご 覧ください。

### ハンバーガーマーク

携帯用フロントページの右上に、横棒が3本引かれた丸いアイコンが付いています。 通称ハンバーガーメニューと呼ばれるもので、ここをクリックするとホームページの 項目が出ます。各項目をクリックするとそこに飛びます。

### サイトツリー

◇ホーム -2019 年は日中青少年交流推進年

-日本側後援(申請中含む)

◇日本側実施要項 一応募資格年齢

一応募締切

一参加費(無料)

一作品規格

-課題・テーマ

一審査

一嘗

-出品の仕方・出品票

◇優秀作品展示行交流会ー希望者に中国訪問のチャンス

-優秀者の氏名発表は当ホームページで

-優秀作品日本での展示交流会

◇日本側事務局 ーメール・ホームページ

-事務局所在地・スタッフ

-協力・書文協

◇プロフィール -主催者発行・雑誌「人民中国」

日本側事務局代表・劉洪友

◇ブログ・インタビユウー総タイトル「日中友好の津梁に」

新たな決定事項◇今回は、書では写真提出方式はありません◇中国側での表彰・展示会は12月22日、中国広州市で開催◇日本側での展示・交流会は2020年1月13日—19日の間、横浜市内の神奈川県民ホールギャラリーで開催。

### ブログ&インタビュー欄「日中友好の津梁に」から

#### 

#### 「孤城」の思い出

「先生の雅号は、どんな意味なのですか?」「祭姪文稿(さいてつぶんこう)から取ったんだよ」「?」「顔真卿という唐時代の書家が、戦死した甥っ子を偲んで書いた弔文の原稿なんだ。台湾の故宮博物院にある」。井上孤城(輝夫)先生は3年前に亡くなるまで、書や漢籍に疎い私にいつも親切でした。

祭姪文稿は顔真卿が 758 年に書いたとされ、塗りつぶされた 34 文字を含め 259 文字。確かにありました。「賊臣救わず、孤城囲み逼(せま)る」。その孤城に込めた井上先生の深い想いを、先生の戦後自分史から知りました。

茨城県霞ヶ浦の予科練に入隊する直前に終戦。悩んだ末に井上少年が選んだ道は教職でした。新しい時代を若者と生きよう・・・。師範学校を経て、創立されたばかりの東京学芸大学に1949年に入学しました。

当時、書道教育は「軍国主義の温床」と言われ、肩身の狭い状態でした。1951年まで、小学校教育から書道は外されていたほどです。井上青年は、先行きが暗いこの書道をあえて専攻に選びました。「我、孤城に籠っても闘わん」。手がしびれて動かなくなるまで毎日、筆を持ち続けたと言います。

中学校に奉職してからは、体育専科で務め、都教委指導主事や全日本中学校長会会長、日本中学校体育連盟会長など要職を歴任。一方で、書道個展を定期的に開いたほか、2010年、日本書字文化協会が東京・中野に開設されると、書道教育の権威者らを審査委員に糾合するなど強力なバックアップをしていただきました。「書道は極めて精神性の高い活動だが、軍国主義の温床だったと言うのは間違いである」「同じ漢字文化圏の隣国として日本と中国は相互理解が必要だ」。井上先生の教えです。

この新春「顔真卿 王羲之を超えた名筆」特別展が東京国立博物館で開かれ、私も 観に行きました。目玉は「祭姪文稿」。押すな押すなの人込みに流され、飾られた文 面から「孤城」の文字を見つけることはできませんでした。一緒に行った大平恵理(書 文協会長)と渡邉啓子(同副会長)はちゃんと目視したのに。書面を読む習練が足り ない残念な思い出に"読む臨書"の努力をしています。

(筆者は谷口泰三・一般社団法人日本書字文化協会専務理事)

# 全書研60回年次大会開く

## 東京葛飾区で 9/12, 13

学校の先生方の教科研究団体である全国書写書道教育研究会(全書研、加藤祐司会長)の第60回年次大会は、9月12,13日に東京都葛飾区内で開かれ、全国から多くの教師らが参加しました。初日の12日は同区青戸7の「テクノプラザかつしか」で理事会などの会議が開かれ、13日は近くの中青戸小学校で公開授業、研究分科会、全体会が開かれました。(写真は全体会)



### ~書字文化を育む書写書道教育~

今大会は、新しい小学校学習指導要領が2020年度から全面実施されるのを控えて、学校教育・書写書道教育はいかにあるべきか、に関心が集まりました。大会ではここ数年掲げている[書字文化を育む書写書道教育]が統一テーマに掲げられました。文化を前面に押し出した書文協の活動が学習指導要領にも反映し、[文字文化]「書字文化」にフォーカスが当たっています。

また、結果重視の教育から過程重視に舵を切ったのが特色。先に開かれた東京都小学校書写研究会(都小書研、玉置克也会長)でも、字形に終始する指導から書写の過程で学ぶことを重視した指導をすることが話し合われました。小学校の書写教育をリードするフロントランナーとして都小書研に期待が集まっており、今回の東京大会では全書研と共催の都小書研、葛飾区立小学校教育研究会が活躍しました。

### 小学校各学年が公開授業

午前中には同小学校のクラスで公開授業が行われました。担当教諭とテーマは次の通り。

| 学年 | 担当教諭  | 在籍校        | テーマ           |
|----|-------|------------|---------------|
| 1年 | 濱田まや  | 江戸川区立第4葛西小 | ひらがな          |
| 2年 | 田邊佳代子 | 西東京市立谷戸小   | かん字の書き方       |
| 3年 | 松川浩一郎 | 葛飾区立南綾瀬小   | 力の入れ方         |
| 4年 | 栗林扶海代 | 世田谷区立松丘小   | 漢字どうしの大きさ     |
| 5年 | 渡辺 梨沙 | 足立区立平野小    | 筆記用具の選たく      |
| 6年 | 古谷野弘美 | 品川区立日野学園   | ほ先の動きと点画のつながり |

60回大会研究紀要では中学校での実践レポートが掲載され、名門私立中高一貫校の開成中学・高校講師、松本貴子さんの「伝統的な書式を活用した書写実践『家族への感謝状を書こう』の意欲的な取り組みリポートが、書写のコミュニケーションと実用性効果を追求する実践として注目されました。

## 水筆指導に関心・・・低学年 都小書研の研究に期待・・・長野理事長

午後の最初に開かれた小学校低、中、高学年に分けた研究分科会でそれぞれ授業の狙いなどが発表されました。低学年分科会(写真)では、今回の学習指導要領で初めて



取り入れられた水筆書きについて、どう使えば良いのか、などの質問が出ました。参加していた長野秀章・全書研理事長は「都小書研で水書き指導についての新たな指導書ができてくるのを期待している」と、答えていました。

全体会では宮澤正明山梨大教授が「新学習 指導要領に基づいた書写書道教育」のテーマ で講演。豊口 和士文科省教科調査官(文教大 学教授)が、全体を締めくくる指導・講評をお こない「さすが東京と思った」と新要領を生 かそうとする先生方の熱意を評価しました。

## 第2回新指導者ライセン試験を実施

## 「新硬筆」「えんぴつ指導者」11月

書文協の事業の中心は、全国書字文化検定試験と指導者ライセンス(資格)試験の実施及び段級・資格の付与、そのための授業・講習会です。全ての人の福祉の向上を目指す団体(法律上は公益団体等)として、社会的に信用される段級・資格を目標としています。評価の高い書文協のライセンスを取って、貴方も指導者の一員になってください。

今回 11 月に行われるのは「新硬筆指導者ライセンス」と「えんぴつ指導者ライセンス」等です。新硬筆指導者ライセンスは5月に続いて2回目。試験は届け出のあった教場を会場に行われます。受験申し込みは9月20日に締め切らましたが、希望者は受験可能な会場があるか、書文協本部に問い合わせてください。

受験資格と受験料金は以下の通り。

| ライセンス名     | 受験資格     | 受験料(税抜)  |
|------------|----------|----------|
| 新硬筆指導者(初級) | 中学生以上    | 6,000円   |
| えんぴつ指導者    | 小学5年生以上  | 3,000円   |
| その他        | 検定成績に準ずる | 受験料一覧を参照 |

えんぴつ指導者ライセンス試験は講習会受講形式も含め、これまでも行われてきましたが、試験問題にも工夫を凝らして実施されます。

書文協は、2020年2月に創設10周年を迎えますが、この目標に向かい、検定・ライセンス制度の改善を進めています。そのポイントは、以下のようなものです。

#### <ライセンス試験>

#### ① 検定成績と切り離し実施

「えんぴつ指導者」を除き、これまでは検定試験の課題が一定の成績に達するごとにライセンス試験の受験 (無試験での段級申請含む) ができる仕組みでしたが、新制度では、検定受験に関わらず単独で受験することができます。

#### ② 指導者に必要な資質を求める点も加味

新制度試験では、作文などで受験者の書写書道及び指導者観を問う出題も含めます。

③ 試験は「硬筆・毛筆・カルチャー」、資格は初級・中級・上級・師範の4段階 ライセンス試験はこれまで何種にも分かれていましたが、検定試験と同一の3 種類とします。資格も10段階にも分かれていましたが、これを初・中・上の3 段階にし、最上位は師範資格を付与します。皆に分かり易く、より実用的なライセンスとします。